

平成23年行政事業レビューシート

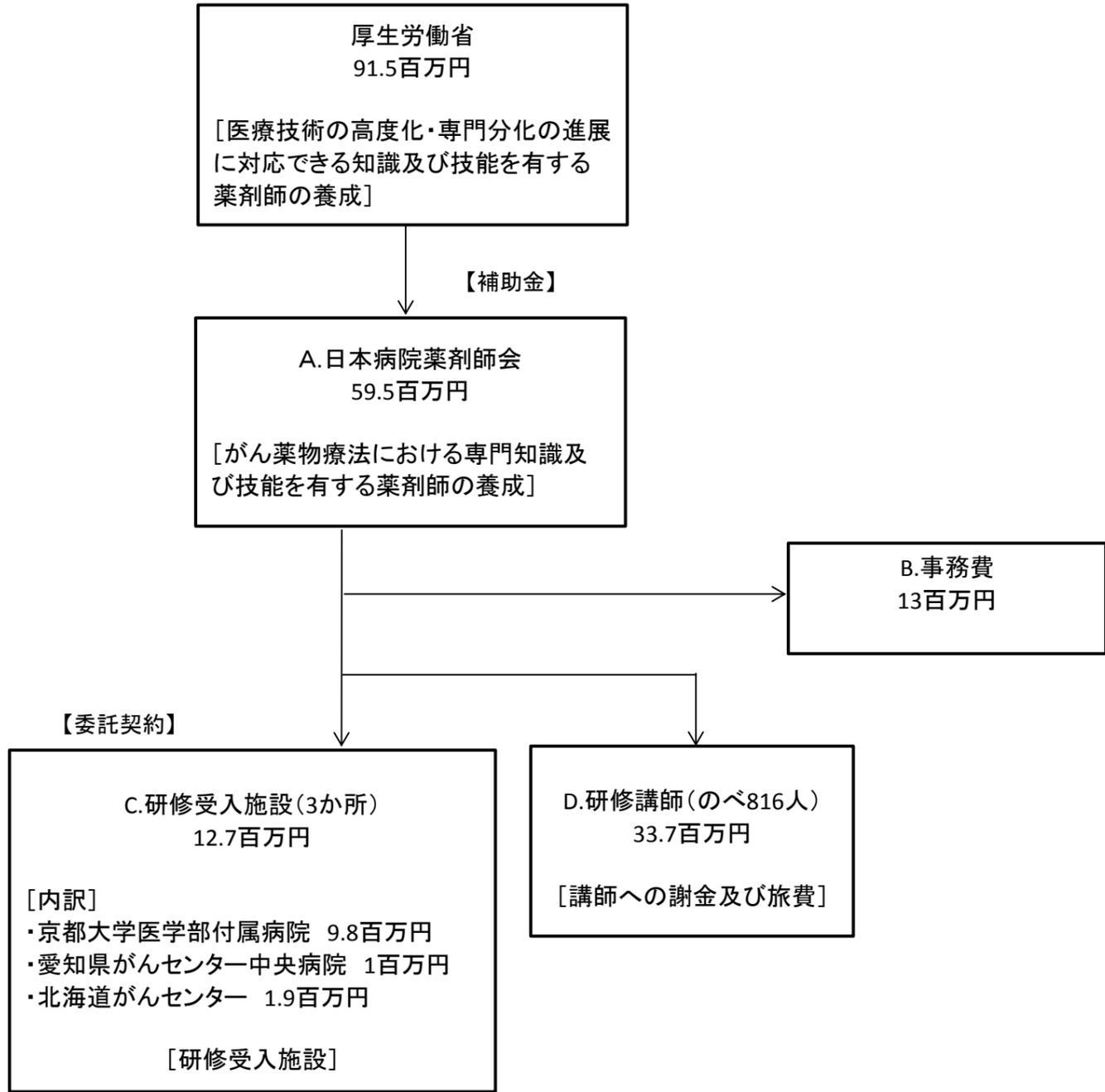
(厚生労働省)

事業名	薬剤師研修事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度		担当課室	総務課		課長 宮本 真司		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-9 医薬品の適正使用を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	・「がん医療水準均てん化の推進に関する検討会」報告書(平成17年4月) ・平成22年4月26日厚生労働省発医政0426第7号「医療関係者養成確保対策費等補助金、医療関係者研修費等補助金及び臨床研修費等補助金の国庫補助について」 ・平成18年6月6日薬食発第0606003号「専門薬剤師研修事業の実施について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療技術の高度化・専門分化の進展に対応できる知識及び技能を有する薬剤師の養成							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	がん薬物療法などの専門分野における知識・技能を有する薬剤師の養成(平成18年度より薬学教育6年制へ移行)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	260	160	92			
	執行額	184	160	92				
	執行率(%)	71%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	がん専門薬剤師、がん薬物療法の認定薬剤師数		成果実績	人	303	374	239	300
			達成度	%	101.0%	124.7%	79.7%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	がん専門薬剤師研修事業の受講者5年間で計1500人(年間300人)		活動実績(当初見込み)	人	296 (300)	142 (300)	68 (300)	- ()
			算出根拠 (事業執行額) ÷ (がん専門薬剤師研修事業の累積受講者数)					
単位当たりコスト	515.8 (千円/1受講者)							
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計	0	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	当初、受講者数の見積もりとして国立がんセンター、大学病院、地域がん診療拠点病院における必要薬剤師数から算出し、計1500人とした。 5年間で866名の薬剤師ががん専門薬剤師研修事業を受講し、結果、がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師として計1202名が薬物療法に精通した薬剤師として輩出された。(専門薬剤師は認定薬剤師を取得した後、論文、試験を経て取得)
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	専門薬剤師等の誕生という一定の成果を達成したので、22年度を最終年度として補助事業を廃止した。		
予算監視・効率化チームの所見			
			-
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
			-
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)



A.日本病院薬剤師会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	賃金職員雇い上げ(事務局)	24			
その他	通信運搬費、手数料	1			
印刷製本	研修資料印刷	1			
諸謝金	講師への謝金	31			
委員等旅費	講師への旅費	3			
計		59	計		0
B.事務費			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	賃金職員雇い上げ(事務局)	11			
その他	通信運搬費、手数料	1			
印刷製本	研修資料印刷	1			
計		13	計		0
C.研修受入施設(3か所)			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	賃金職員雇い上げ(事務局)	13			
計		13	計		0
D.研修講師(のべ816人)			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	講師への謝金	31			
委員等旅費	講師への旅費	3			
計		34	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

B. 事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	賃金職員A	事務補佐業務	2.2		
2	賃金職員B	事務補佐業務	2.1		
3	賃金職員C	事務補佐業務	1.9		
4	賃金職員D	事務補佐業務	1.8		
5	賃金職員E	事務補佐業務	1.5		
6	賃金職員F	事務補佐業務	0.7		
7	賃金職員G	事務補佐業務	0.5		
8	(株)スタッフサービス	事務補佐業務	0.4		
9	郵便	受講証、修了証等の発送	0.3	随意契約	

支出先上位10者リスト

C. 研修受入施設(3か所)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	賃金職員A	事務補佐業務	4.4		
2	賃金職員B	事務補佐業務	4.4		
3	賃金職員C	事務補佐業務	1		
4	賃金職員D	事務補佐業務	1		
5	賃金職員E	事務補佐業務	0.3		
6	賃金職員F	事務補佐業務	0.3		
7	賃金職員G	事務補佐業務	0.3		

支出先上位10者リスト

D. 研修講師

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	研修講師A	研修講師	0.04		
2	研修講師B	研修講師	0.04		
3	研修講師C	研修講師	0.04		
4	研修講師D	研修講師	0.04		
5	研修講師E	研修講師	0.04		
6	研修講師F	研修講師	0.04		
7	研修講師G	研修講師	0.04		
8	研修講師H	研修講師	0.04		
9	研修講師I	研修講師	0.04		
10	研修講師J	研修講師	0.04		